



さいかい

2025.2
vol.117
Winter

Contents

- ・第31回長崎県作業療法学会
- ・第2回職場紹介 ～長愛会 菊地病院～
- ・達人Tell me(作業療法教育)
- ・ママさんOT
- ・48委員会について
- ・サロン(事業所)紹介
- ・教えて同世代！ ～繋がり紹介～
- ・県士会ノベルティ紹介
- ・仕事で使える便利グッズ

発行元：一般社団法人長崎県作業療法士会 事務局

長崎市東町1909 西川第1ビル101 代表 沖英一

企画・編集長崎県作業療法士会 広報局

第31回長崎県作業療法学会

テーマ

困難な時代を切り開け
レジリエンスで創る未来

特別講演・Skill upセミナー

私が考える中枢神経障害に対する上肢機能への治療戦略を紐解いて
未来を切り開く、作業療法士の役割と使命

日本作業療法士協会 会長 山本 伸一 先生



学会長基調講演

レジリエンスで創る未来
～症例発表のメリットと作成のポイントを厳選して～

長崎労災病院 久保田 智博 先生



教育講演

リハビリテーション医療だからできる
就労支援と自動車運転支援

中国労災病院 脳神経外科医 豊田 彰宏 先生



市民公開講座

生きる～今、立ち止まっているあなたへ～

株式会社CREIT代表 高橋 尚子 さん



学会運営スタッフの紹介



学会長
久保田 智博



実行委員長
中島 拓郎



事務局長
内野 保則



財務局長
亀屋 祐喜



県北理事
日南 雅祐



県北理事
小出 将志



演題採択委員長
三宅 陽平



特別企画委員長
塚本 倫央



広報委員長
眞浦 健人



プログラム委員長
北島 春菜



会場委員長
東原 太一郎



福祉用具機器
福崎 祐介



レセプション委員長
森 陵輔

学会You tube配信しています！

第31回 長崎県作業療法学会

学会アゲ↑TV



レセプションのご案内



【開催日時】2月8日（土）18時30分から

【会場】JAさせぼホール

【参加費】5500円

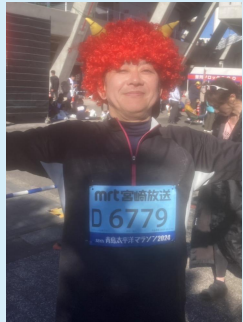
【申し込み】学会登録フォーム

ご参加を心よりお待ちしております！！

職場紹介シリーズ(2) 長愛会 菊地病院の紹介

行っているリハ ・脳血管リハ ・運動器リハ ・呼吸器リハ ・訪問リハビリ

作業療法士が国家資格として誕生したのは、1965年(昭和40年)です。当院は昭和42年に開設しておりますので、歴史ある病院といえます。58年経過しているわけですが、昔と変わらず地域に根ざしたリハビリテーションを実施していること、また県士会活動にも尽力しています。また、スタッフの地域での活動内容としては広域リハビリ、地域ケア会議参加、通いの場・認知症カフェ訪問、医療的ケア児等コーディネーターとしての活動、小児リハビリ(小学校・保育園訪問等・サポートサークルの実施を精力的に行っております)。松浦市が開催するイベントには積極的に参加し、啓発活動も行っています！

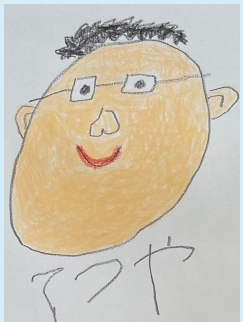


氏名 西村義人 52歳

経験年数 28年

趣味 ・ギター(弾き語りとかしますが、誰も聞いてくれません。妻さえも...)
・中途半端なマジック拍手なし、笑いなし、つかみどころなし...)
・フルマラソン(コロナ後やっと、大会に出始めました。長かった...)

最後に一言 YouTube『モコちゃんに看取られる』に出演しています。ACP啓発活動です。笑いあり、涙ありの動画となっております。見てない方は見てください～



氏名 T.TATEISHI

経験年数 OT人生スタートは、介護保険元年です(笑)

趣味 ゴルフ、ロードバイク

最近は医療的ケア児の共生社会実現のため
日々奮闘しています！



氏名 南里優子

出身校 医療技術専門学校 緑生館

経験年数 20年

趣味 お習字、パン、お菓子づくり(米粉)、読書、旅行etc..



氏名 亀屋祐喜

経験年数 13年

趣味 トレーニング、ソフトボール、野球観戦、ゲーム、子供と遊ぶ、
健康マージャンー松浦市に通いの場があり、全国大会出場者多数で
賑わっております！

最後に一言 松浦市オススメはお食事処『あじ彩』
新鮮なお刺身と肉厚のアジフライは絶品！



ぜひこれを機に
松浦市へ！

今回は
長崎県対馬病院
です♪...



「作業療法の核」というテーマのシンポジウム

私が作業療法士となった頃、初めて参加した全国学会では「**作業療法の核**」というテーマでシンポジウムが行われていました。職業として存在しているのになぜそのようなテーマなのか疑問に思ったことを覚えています。しかし協会50年史によると、協会が設立されて20数年経過した1986年～1989年の学会で、3回にわたり「**作業療法の核を問う**」というテーマでシンポジウムが行われており、それは、**作業療法士の普及と発展を願い尽力された先輩方の熱意そのもの**だったのだと、今は思いをめぐらすことができます。また同時期に、協会の作業療法学研究委員会の「**作業療法学の構造**」を骨格とした「**作業療法学全書**」初版（1990年～）が刊行され、これが作業療法教育の基本的枠組みとなったとあります。それまで実践先行の形をとってきた作業療法が、**学問性を問われる段階**に入ったのです。この後に、私は養成校に赴任した（1997年～）のですが、まだ作業療法の専門科目を扱う出版社は他になく、全書第2版を教科書として授業を行いました。（そのうち鎌倉矩子先生の『**高次神経障害**』は、個人的に絶賛の一冊でした。）

作業療法教育の変化

1999年の指定規則改正では、社会の構造変化にあわせて大綱化が行われ、臨床実習は全体の20%を下回るまで削減されました。これは、4年制大学での養成が始まり、即戦力養成から**学問・科学としての作業療法教育へ移行**しつつあったことが背景にあったといわれています。そして人間作業モデルをはじめとした**作業療法理論**の出版が続きました。その頃、学生が実習先でCOPMを学び、**患者の作業の獲得**に成果を出した報告に感銘を受けたこともあり、カナダ式作業モデルを読み込み一部授業に取り入れました。まだ作業療法士は、作業を療法（手段）として扱う方にベクトルが向いていたので、**作業を目標として実践**することが非常に新鮮にうつりました。

作業療法教育の場を作る

次の養成校に就職まもなくして、独自にカリキュラムの一部改訂（2015年）を行いました。理由は「**急性期ではPTと同じことをやっている、学校で学んだことが現場に生かせない**」など、カリキュラムの内容について学生の満足度が十分得られておらず、それに対して、明確な答えを示すことができなかつたからです。まず授業内容を見直しました。学生が自分の言葉で作業療法をプレゼンする、早期に生活の場を見学する、障害体験、段階づけ（グレーディング）と適合（アダプテーション）の演習などを設けまし

た。さらに年1回、山根 寛先生をお招きして講演会を開催し、学生、実習指導者、教員の三者が同じ場で**作業療法の専門性**について理解を深める**作業療法教育の場**を作りました。これはコロナ禍までの7年間ではありましたが、非常に贅沢な学びの場でありました。そしてカリキュラム改訂では、作業療法の枠組みにWFOT声明（2010年）「**クライアント中心**」を置き、**生活行為向上マネジメントを本当に使える作業療法士を育てる**ことを目標にしました。新設の科目「**サービスラーニング**」では、福祉施設で生活する方を対象に、面接と観察からシートを用いて生活課題を分析し支援プログラムを立案するもので、その体験は、対象者に関心をもち、**その人のしたい作業を把握し支援する作業療法の基盤**をつくる場となっています。

「作業療法の定義」の改定

直近の指定規則改正（2018年）は、地域包括ケアシステムの構築等によりPTOTの役割が変化してきていることを反映した教育内容の改正と臨床実習の在り方の見直しが大きな柱でした。同じ年に、協会は「**作業療法の定義**」を改定し「**作業療法は、作業に焦点を当てた治療、指導、援助である**」とし、作業療法の焦点が作業にあること、その専門性は、作業に焦点を当てた実践を通して示されることを明示しました。これにより、MTDLP学修を充実させ、専門性の理解を通して多職種連携を学び、実習前後のオスキーの実施など、より充実したカリキュラム内容となっています。定義が明示されたことは、これからの地域共生社会において、作業療法士の誰もが専門性を対象者や他職種に示すことができる、大変意義深いことです。

作業療法士は生活を支援する専門家

これまで、**作業療法とは何かの問い**を抱えながらではありましたが、協会の取組み、規則の改正や枠組みの変化、対象領域の広がりなど、周りで起こっていることを文脈として理解しながら、カリキュラムを検討し教育に携わってきました。作業療法において人のしたい作業に焦点をあてれば、**必ずと対象者中心の介入**になります。生活は作業によって構成されるため、できることを直接増やせる**作業療法士は、生活を支援する専門家**として社会からの期待が高まるものと思います。そのために、引き続き養成校として、**作業に焦点を当てた実践**を展開できる基盤づくりをしっかりと取り組みたいと思います。

最後にこのような機会をいただいたことに感謝いたします。

マ

マ

さん

さん

O

T

医療法人 常葉会 長与病院

久保香奈子

- ・長崎医療技術専門学校卒業
- ・長与病院(療養病棟、地域包括病棟経験)勤務
- ・家族：夫と子供（1歳）の3人暮らし

<職場の理解とサポート>

妊活中から妊娠、出産、育休、そして育休復帰後も職場の方々にとても理解していただき、また寄り添っていただいているおかげで、なんとか仕事とプライベートの両立ができています。妊活中や妊娠中も、通院や体調を優先的に配慮していただきました。私はありがたいことに育休を十分な期間取らせていただいたため、安心して子どもの成長を一番近くで見守りながら、とても幸せで、かけがえのない時間を過ごすことができました。復帰後も、子どもの急な体調不良や行事の際など、職場の皆さんのご理解とサポートのおかげで、快くお休みをいただいていることにとても感謝しています。復帰直前は子育てをしながら仕事ができるのかと、とても不安でしたが、職場の方々が私自身の体調や我が子のことを常に気にかけてくださり、成長と一緒に喜んでくださるなど優しいお声掛けのおかげで、子育てをしながら仕事を続けられていると思っています。

<育休復帰後の仕事と家庭の両立>

育休からフルタイムで復帰した際には、ワークライフバランスを取るための工夫が必要でした。復帰直後、仕事の方は、職場の方々が無理のないペースで仕事ができる環境を整えてくださったおかげで業務に徐々に慣れていくことができました。一方で、帰宅後は子どもの後追い、泣きながらの抱っこ要求の毎日…「え？世の中のママさんどうやってご飯作ってるの？」と疑問でした。主人の帰りが遅いため、一人で子どもを抱っこしたり誤魔化したりしながら食事をどうにか準備し、一通りの家事、育児をこなした後、子どもの寝かしつけと同時に朝まで寝落ちする毎日で心の余裕が無くなったりもしました。しかし朝起きると主人が家事を終わらせてくれていることが多く、とても助かっています。他には、帰宅後その日のやるべき事をこなすことで精一杯で子どもの相手をしてあげられる時間が少ないことにも罪悪感を覚えました。そこで朝早起きしてその日の夕食の準備を済ませたり、週末に作り置きをしておくなどして食事の準備を時短し、抱っこ要求されても心置き無く抱っこしてあげられたり、子どもとの時間を少しでも長く確保できるようにしています。それでも毎日ドタバタで、未だにいかに仕事の日に効率よく過ごせるかを試行錯誤しながら手探り状態です。働くママさん、パパさんをととても尊敬する日々です。



<おわりに>

母としての役割とOTとしての役割を両立する生活は、忙しいながらも充実感にあふれています。職場の理解や家族の協力があってこそ成り立つ日々感謝しつつ、これからも仕事と家庭の両方で笑顔を大切にしながら、楽しみながら自分らしい働き方を模索し続けていきたいと思っています。

沖会長に聞いてみた！

テーマ
48委員会って何？



①48委員会について

牧野：今日ではよろしくお願ひします！早速ですが、OT協会にも様々な委員会や会議があると思いますが、その中でも48委員会についてわかりやすく教えて下さい。48委員会はどのようなことを目的に組織され、どのようなことを話し合うのでしょうか？

沖会長：一言でいうと協会と士会が一体となり、国や地方自治体に対して政策提言を行える組織体制を構築するためにできました。それまでの経緯ですが、2008年には、OT協会が地域移行支援5年戦略を立てました。これは医療の領域から地域生活へ向けて円滑な移行を促進するものでした。協会としては、国の施策に対し積極的に取り組む意思を示すと同時に、必要な提言をしていかなければならないと考えました。周知のように、今後のわが国は高齢化率（65歳以上人口割合）が2035年に33.7%（3人に1人）、2055年には40.5%（2.5人に1人）となり、総人口が8,993万人の超高齢化社会に直面します。国は、ほぼ30年の間に直面する国家的課題に対応するため、まずは2025年に向けて「地域包括ケアシステム」の実現を掲げました。作業療法を取り巻く地域実情もさまざまな課題に直面しています。直接には少子高齢化の顕在が挙げられ、それぞれの地域の姿を大きく変容させていくものとなっています。そのために、高齢者対応から始まった「地域包括ケアシステム」の構築は、その地域の子どもから高齢者までの全ての住民を対象とする新たな仕組みの構築に向かうことになっています。医療専門職である作業療法士もそれぞれの地域が抱える課題を把握し、医療・介護・保健・福祉・教育の場でどのような貢献ができるかを問われているわけです。難しい話になったかもしれませんが、つまり国の政策を各士会に伝達するとともに各地域事情を踏まえ、どのようにしていけば良いのかという方法や戦略を共有・検討する機能が、48委員会にはあると思います。

牧野：ちなみに、長崎県士会からは誰が参加しているのでしょうか？

沖会長：県士会長の私が参加しています。現在では、Web参加が各士会より最大5名まで認められています。理事や部長が参加されています。

②「協会員=士会員」について

牧野：次に、48委員会の議題の一つに「協会員=士会員」実現に向けた検討委員会があるとお聞きしましたが、その中で士会員の協会加入率が92.5%に対し、協会員の士会加入率は80.2%に留まっているとの報告がありました。この結果はどのように理解したらよいのでしょうか？

沖会長：OT協会は、国に対して働きかけを行うものです。県士会は、地域行政（県・市町）に対しての働きかけです。専門職の役割は後で話しますが、我々がより良い作業療法サービスを提供するには、どちらにも所属することが必要と考えます。そもそも、長崎県作業療法士会の定款 第7条「正会員になるようとする者は、一般社団法人日本作業療法士協会に入会すること」明記してあります。よって、協会加入率と士会加入率が一緒のはずなのです。

牧野：「協会員=士会員」が実現した際のメリットについて教えて下さい。また、もしデメリットがあるとすれば、それについても教えて下さい。

沖会長：「協会員=士会員」とは、会員の情報を共有することにあります。各士会（特に事務局）では、会員数の増加に伴い情報管理（入退会・会費の管理・所属先・生涯教育制度情報など）がとても大変な作業となっています。そのような管理をOT協会が一元管理することになります。デメリットは、今のところ思いつきません。

牧野：会員情報の突合作業（協会と士会の情報を比較対照し、整合性を確認する作業）について45士会が完了しているとのことですが、これはどういったことなのでしょう？また、方策案の回答状況が44士会からしか返ってきていないとのことですが、全士会の足並みを揃えることの難しさはどういったところにあるのでしょうか？

沖会長：47都道府県があれば、それぞれいろんな考えがあると思います。

いずれにしても「協会員=士会員」は、実現するように努力しているようです。

③組織率向上について

牧野：最後に、これまで当士会は士会員に対しても、長崎県民に対しても「健康祭り」など多くの取り組みを行って来ているかと思いますが、今後もこの活動を継続し、更に発展させるためには組織率の向上が必要と考えております。しかしながら、近年、特に若手のスタッフからは「県士会や協会に入るメリットがわからない」といった声も聞かれております。それに対して上手く説明できない自分にも不甲斐なさを感じているのですが、この件に関して沖会長のお考えをお聞かせ下さい。

沖会長：専門職、国家資格である作業療法士は、国の法律に基づいて、作業療法サービスに従事する能力や知識を証明する資格です。法律によって一定の社会的地位が保証されており、社会からの信頼性が高いと言えます。最新情報・知識・技術の更新は、1人ではなかなか難しいものです。皆さんが、最新の技術・知識の更新に努め、よりよいサービスの提供を行っていただくためにも職能団体（協会・士会）に所属していただきたいと思ひます。

④最後に...

牧野：では、最後に県士会員の皆様一言お願ひします！

沖会長：作業療法は、とても魅力ある職業だと思ひます。皆さんが、対象者へ素晴らしいサービスを提供することが一般の人々に作業療法を啓発する一番の近道だと思ひます。多くの人にもっともっと作業療法を知っていただくために努力していきましょう。

若年性認知症のつどい 談来 (ダンケ)

今回、大村市で開催されている若年性認知症のつどい、談来の取材をさせていただきました。

談来とは？

ドイツ語で「ありがとう」という意味であり、「相談に来て」「談笑しましょう」と言う願いを込めて名付けられました。2024年3月に発足されたばかりで、まだ参加されている方は少なく、現在は2組のご家族が定期的に参加されているそうです。

対象：若年性認知症と診断された方（65歳未満発症の方で現在の年齢は問わない）とその家族

日時：毎月第4木曜日 13：30～15：00

場所：プラット大村4階 大会議室（参加費無料）



もっと知りたい！談来のこと

「談来」についてもっと詳しく知るため、大村市地域包括支援センターの寺島氏と長崎県若年性認知症サポートセンターの藤島氏にお話を伺いました。

談来はどんな経緯で発足されたんですか？

藤島：私が若年性認知症の方を担当していて、地域で集まる機会がないと感じていました。その時、偶然寺島さんとお話をする機会があって、立ち上げることになりました。

寺島：お話が来た時、待ってましたって感じでしたね！「談来」と言う名前も参加されているご家族の方が考えられていて、すごく思いが詰まっています。

談来では普段どんな活動をされていますか？

寺島：本人さんのチームでは昔得意だった活動を取り入れたレクリエーションを行なっています。家族さんのチームでは日々の介護の悩みや思いを話してもらっています。実際にあった相談では移乗で手の腱鞘炎になられた方がいらっしまったので、身体に負担のかからない介助方法の指導をしましたね。

実際に参加された方からの良い反応はありましたか？

寺島：ご本人さんはこの場に来ることで普段ご自宅では見られないような反応があったり、良い刺激になっているのではないかと思います。ご家族の方も一緒に楽しまれたり、ちょっとした息抜きができていないのではないかと思います。

大村市以外の方も参加できますか？

藤島：もちろん参加できます！実際に参加された方もいらっしゃいましたし、参加される方もご本人さんだけ、ご家族だけの場合もあります。興味がある方がいらっしまったら、医療従事者の方もぜひ見学に来ていただきたいですね。

とある一日のプログラム

- 13：30 **開会**
集いのルールや会の流れの説明
- 13：45～ **【本人チーム】**
レクリエーション
休憩タイム
- **【家族チーム】**
茶話会タイム
(自由トーク)
- 14：45～ 全体会
感想や次回日程の確認
- 15：00 終了

談来忘年会！

取材に伺った日は記念すべき10回目の開催でした！年末ということで談来忘年会を企画されており、当事者・家族の方、支援員の方も含め、皆さんが楽しまれており、談来の暖かい雰囲気を感ずることができました。



お問い合わせ

大村市地域包括支援センター ☎0957-53-8141

(協力機関) 長崎県若年性認知症サポートセンター ☎095-895-2437



当事者やその家族の方々、支援に関わる医療従事者の方の参加もお待ちしております！

市ホームページ QRコード

教えて同世代！～繋がり紹介～

SAME GENERATION

研修会や学会でも対面で会う機会が増え、オンラインではできなかった世間話もできる状況になってきているかと思います。そんな会話の中で、この人とあの人が同期なんだ！あの先輩と一緒に学校なんだ！と、新たな繋がりを発見することもあるのではないのでしょうか。

今回は、長崎県作業療法士会の黒木副会長の同世代について紹介いただきます。

01 自己紹介

黒木 一誠

職場：社会医療法人 春回会 井上病院

長崎北病院→井上病院→長崎北病院→出島病院→長崎北病院→井上病院

出身：宮崎県

出身校：長崎医療技術専門学校

経験年数：21年目

趣味：ギター、サッカー、テニス

地域活動

横尾北部自治会 会長

横尾公民館 館長

横尾小学校区地域コミュニティ連絡協議会 委員

横尾小学校区青少年育成協議会 委員

横尾フットボールクラブ 監督



02 インタビュー 同世代はどなたですか？

長崎医療技術専門学校に長く在籍させてもらったので、同世代は多いかもしれません。

入学同期は、理事の中で言えば、長崎医療技術専門学校の福島浩満事務局長や、公立小浜温泉病院の松尾忠昭監査です。福島事務局長は学生の時から私たちの先生でした。他には、県職の前山隆史さん、信州大学にいる佐賀里昭さん、宝塚医療大学にいる真鳥伸也さん、真珠園療養所の磯野真也さんも同期です。年齢は私より上で色々な経験値が高く、当時から刺激的な人達でした。

卒業同期で言えば、第30回長崎県作業療法学会の学会長をされた山田玄太さんや、第32回長崎県作業療法学会の学会長を務める岩阪真大さんです。年齢は私より下の2人ですが、私も含め、当時はあまり出来の良い生徒ではありませんでした。また「おいの傘とったろ事件」など小競り合いもありましたが、2人の活躍にびっくりしています。他には、長崎地区運営委員の山崎結城さん、第29回長崎県作業療法学会の実行委員長の中井亨さん、元理事の久和成吾さん、道の尾病院の小林さんも同期です。私は、夜な夜なギターを担いでアーケードで歌っていましたが、学生生活はこのメンバーで過ごした感じでした。それぞれ職場でもですが、得意な分野で県士会や学会活動にも貢献していて、刺激を受けています。

先輩方も同世代と言っていいかわかりませんが、理事では佐世保北病院の日南雅裕理事、大村共立病院の畑田美恵理事が、長崎リハビリテーション学院の中村義博さんや、小鳥居北諫早病院の杉村彰悟さんは医技専の先輩で、よくグリーンハイツでもお会いし、お世話になっておりました。ちなみに長崎記念病院の中村和也理事は、学生時代のパイザーで実習中にご迷惑をおかけしてました。

同世代の個別のエピソードについては、懇親会等でお会いした時に共有できたらありがたいです。

03 インタビュー 同世代との繋がりとは？

同世代というだけで安心感がありますね。どこで誰と繋がっているのかで、身近に感じられたり、その方の人となりを少し垣間見ることができたりしますよね。

繋がりに関しては、職場以外でもSIGの勉強会や研修会、学会、県士会事業など、様々な場面で同世代や先輩との繋がりを知る場面があります。また、医療分野ではなくても、自分の住んでいる地域には、自治会や子ども会、PTA、自分の趣味や子どもの習い事など様々なコミュニティがあり、全く違った分野の方々とも同世代で繋がる場合もあります。

私にとっても、地域との繋がりからコミュニティが広がり、様々な困難にぶつかった時にも違った意見を聞くことができたり、頭を整理してくれたりとはやはり、同世代の繋がりには大事ななと思っています。

皆様も、色々な場を活用し、同世代の入り口からコミュニティを広げていってはいかがでしょうか。



最近健康福祉祭など作業療法を地域の皆さんに知ってもらう機会が増えてきています！
そんな啓発活動のときに配っている長崎県士会のノベルティ みなさん知っていますか？



新しいノベルティを思案中

現在、広報局内で新たにノベルティを思案・作成中です♪
次は何になるのか？お楽しみにお待ちください！
さらに「こんなものがあつたら良いな」など皆様からのアイデアもお待ちしております。

現在はボールペンとバッグ

歴代の広報局メンバーがロゴなどアイデアを出し合って作りました。
ボールペンは普段使い出来るので地域の皆さんにも喜ばれます☺
作業療法の紹介のチラシなどをバッグに入れてお渡します。

尚、ノベルティをはじめLaughなどの広報誌は長崎市東町の事務局にて保管しています。イベントの際はぜひご活用ください！



一般向け発刊物

Laugh の紹介

健康福祉祭や将来の仕事は何にしようか悩んでいる学生さん・その保護者の方など一般の方々に向けて、OTの魅力を知っていただけるように作成しています！是非、一度見て下さい☆



Vol. 01
Laugh



Vol.1 身障分野

中には“OT物語”といって、OTと共にやりがいと生きがいを取り戻したAさんの物語がA4用紙1ページサイズにまとめられています。事例は女の都病院さんにご提供いただいた実例です。身体機能面だけでなく、精神面にも働きかけるOTの一面が物語を通してわかりやすく描かれています！

Vol.2 小児・発達分野

Vol.2である小児・発達分野では、OTと共に人と関わることを楽しめるようになったAくんの物語が描かれています。Aくんの特性に合わせた治療を行いつつも、お母さんの相談にのり、関係機関とも連携するOTの活躍の幅の広さがわかりやすく描かれています！
事例は広報局の江頭さんのご提供です。



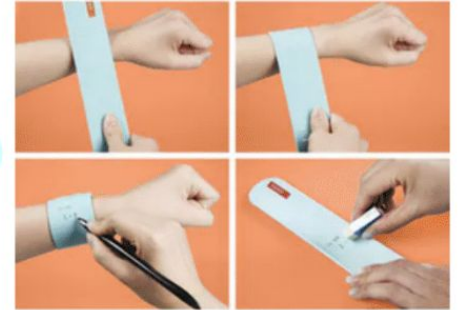
今後、精神科分野と老年期分野も作成予定！

仕事で使える便利グッズ

臨床・業務・勉強のサポートにいかがでしょうか？

ウェアラブルメモ WEMO

腕に巻き付けて使用するシリコンバンドのウェアラブルメモです。手や手首にメモを残す方がいでしょうか？名札の紐などにも引っかける事が出来ます。油性ボールペンで書いて、指や消しゴムで擦って消すことができます。一部のペンは消しゴムで消しても痕が残ります、アルコールでも消えないことがあります。*ボールペンはZEBRA社ジムノック0.7mm芯のご使用を推奨。



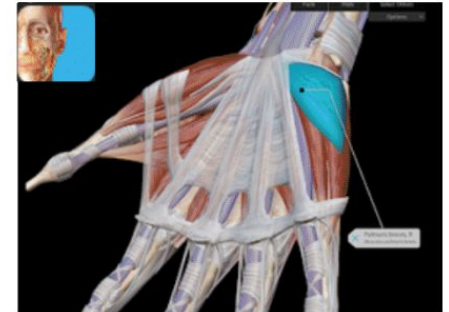
Google スプレッドシート

共同作業と情報共有をスムーズに。イベントを計画したり、最新の売上高を共有したりする際共同作業が簡単です。プロジェクトに共同編集者を追加したり、自分が見ていない間にあった変更の通知を受け取ったり、同じドキュメント内で同僚とチャットすることが可能です。変更はすべて自動的に保存されます。オフラインアクセスを使えば、時間や場所を問わずにファイルの作成、閲覧、編集が可能です。



HumanAnatomyAtlas2025 (アプリ)

骨格や筋肉のみならず、内臓や神経系までモデリングされた人体モデルを使って解剖学を学ぶ3D医学ソフトです。(有料) 360度回転+ズームができるので角度ごとの筋肉や骨の見え方など知ることが可能です。解剖機能で一枚一枚筋や骨をはがして観察も可能です。素体を骨だけ、一部の筋だけの状態にすることも可能です。神経や性器、皮膚まで再現されており男女の素体にいつでも変更可能です。



セイコー ストップウォッチ アルバピコ スクールマスター

机の上に置いても使える卓上型です。臨床では、OT机上評価時フロントにもボタンがあるため利用しやすいです。ストップウォッチと減算タイマーを切替えて使用できます。



Canva キャンバ

デザイン作成の経験がなくても、数多くの無料テンプレート・写真・フォントなどを使用して、さまざまなデザインを作成可能です。自分だけで作業することも、別のユーザーを招待してコラボレーションすることもできます。プレゼンテーション資料、SNS用の画像、名刺やチラシ、ポスターなどの作成のいかがでしょうか？



第

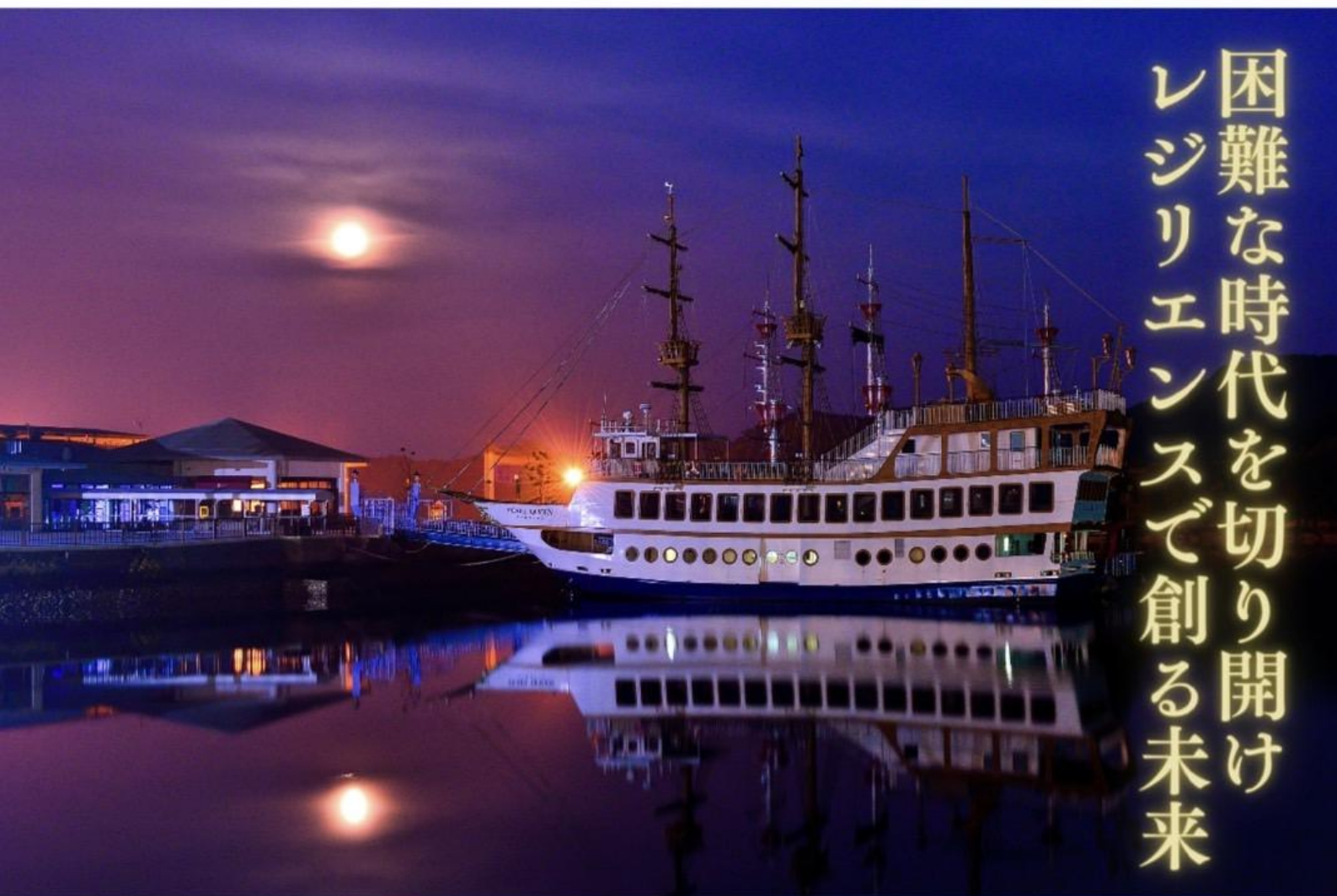
31

回

長崎県 2025 作業療法学会



The 31th Nagasaki Occupational Therapy Congress



困難な時代を切り開け
レジリエンスで創る未来

会期

2025年2月8日(土) ▶ 2月9日(日)

会場

アルカスSASEBO

学会長

久保田智博 (長崎労災病院)

主催：長崎県作業療法士会